



採用・退職

採用医師・退職医師のご案内

【採用医師】

令和2年9月1日付採用



呼吸器内科  
副部長  
南 大輔  
(みなみ だいすけ)



皮膚科  
医師  
黒田 桂子  
(くろだ けいこ)



リハビリテーション科  
医師  
文 勝徹  
(ぶん まさゆき)



小児科  
専攻医  
田中 陽菜  
(たなか はるな)

令和2年10月1日付採用



内科  
医師  
服部 直  
(はっとり なお)



産婦人科  
医師  
相本 法慧  
(あいもと のりとし)



内科  
専攻医  
松本 磨依  
(まつもと まい)



形成外科  
専攻医  
作道 善行  
(さくどう よしゆき)

【退職医師】

令和2年7月31日付退職

内科 入退院センター長 奥新 浩晃  
麻酔科 ペインクリニック副部長 森本 明浩

令和2年9月30日付退職

内科 医師 木村 彰吾  
形成外科 医師 秋田 美由紀  
皮膚科 医師 浜重 純平  
リハビリテーション科 医師 高橋 惇司  
歯科口腔外科 医師 花田 泰明

内科 専攻医 松尾 優  
小児科 専攻医 近藤 友里子  
小児科 専攻医 山根 弘美  
産婦人科 専攻医 白河 伸介

患者さんのご紹介はぜひFAX紹介をご利用ください

当院では、地域の先生方と緊密な連携と役割分担を図りつつ、より良い医療を提供していくことで、地域医療の充実を目指しています。

紹介状をお持ちでない患者さんが当院を受診された際は、まず、かかりつけ医を受診していただくようお願いしていますので先生方のご支援を賜りますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちでも直接来院された場合、来院された日に受診出来なかったり、待ち時間が長くなったりとご迷惑をおかけすることがありますので、是非FAX紹介をご利用くださいますようお願い申し上げます。

FAX紹介受付時間 平日 8時30分～19時まで 土曜日 8時30分～12時まで

診察日 原則 1週間以内 \*但し、検査・診療科・診療内容により及び希望日が集中する場合がございますのでご了承ください。

問い合わせ先 地域医療連携課  
TEL:079(299)5514(直通) FAX:079(299)5519(直通)

がん相談支援センター

当院では、がんでお悩みの患者さんやご家族の方が安心してご相談いただける窓口として「がん相談支援センター」を設置しております。当院の患者さんやご家族はもちろん、地域の方、当院かかりつけでない方もご利用いただけます。

相談予約 あらかじめ電話でのご予約をお願いいたします 受付時間 平日 8:30～17:00

病院代表：079-294-2251

直通：079-299-0037

相談時間 1回60分程度

また、当院2Fエントランスホールの相談支援センターブースでも相談・予約を承っております。

姫路赤十字病院だより

Vol.30

発行日 令和2年10月

発行 姫路赤十字病院  
発行責任者 院長 佐藤 四三  
編集責任者 広報委員長 田中 正道

〒670-8540 姫路市下手野1-12-1  
電話 079(294)2251(代)  
URL: <http://himeji.jrc.or.jp/>

# 姫路赤十字病院だより

Japanese Red Cross Society Himeji Hospital NEWSLETTER

Vol. 30

October

2020.10

contents

診療科の紹介 脳神経外科

診療科の紹介 眼科

診療科の紹介 糖尿病内科

Cooperation Message 地域医療連携室

遺伝外来について

救護看護婦像へ黙祷

臨床指標

ただいま新棟を建設中です

看護部研修開催予定一覧

採用・退職





01

## 脳神経外科

## スタッフ紹介

高野 昌平 第一脳神経外科部長

(平成8年卒/脳神経外科手術全般、脳腫瘍の外科、頭蓋底手術、神経内視鏡手術)

高橋 和也 第二脳神経外科部長

(兼)脳・心臓血管副センター長  
(平成10年卒/脳神経外科手術全般、脳血管障害の外科、脳血管内治療、脳腫瘍の外科)

新光 阿以子 第一脳神経外科副部長

(平成15年卒/脳神経外科手術全般、機能的脳神経外科、予防医学【脳ドック】)

大前 凌 専攻医

(平成30年卒/脳神経外科手術全般)



## 令和元年度診療実績

## 新規紹介症例数

|               |     |
|---------------|-----|
| 頭部外傷手術        | 50例 |
| 脳血管障害に対する開頭手術 | 26例 |
| 脳腫瘍手術         | 40例 |
| 機能的脳神経外科手術    | 6例  |
| 水頭症手術         | 11例 |
| 脳血管内手術        | 34例 |
| その他の手術        | 20例 |



## 当科の診療方針

当科は現在3名の脳神経外科専門医と1名の専攻医の計4名の常勤医師と、酒井病院からの応援医である清水、岡山大学からの応援医である平松(専攻は脳血管内治療)の体制で診療を行っております。また、近年は初期研修医がローテーションとして当科を選択される機会も増え、若手のエネルギーに刺激を受けながら救急医療にも積極的に取り組んでおります。当院は地域がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センターとして認定を受けておりますので、小児、妊婦から高齢者まで幅広い年齢層、多岐にわたる疾患の患者さんを診療する機会に恵まれています。治療に難渋しそうな症例に対しては大学病院とカンファレンスをしながら、最善の治療を選択するよう心掛けております。

当院の手術室にはナビゲーションシステム、手術顕微鏡、内視鏡装置、神経機能モニタリング装置、ハイブリッド手術室等を備えており、2019年に新たに手術用顕微鏡として外視鏡も導入し、これらを駆使してより安全で質の高い手術を患者さんに提供出来るよう心掛けております。

## 地域の医療機関の先生方へ

地域の医療機関の先生方には日頃より大変お世話になっております。原則として紹介患者さんにつきましては疾患を選ばず24時間、365日対応する方針としております。2014年4月に開設した脳・心臓血管センターもようやく先生方に認知されつつあり、時間外の紹介も増えてきております。こちらは脳神経外科、循環器内科、心臓血管外科医が交代で直通電話を持ち、24時間待機しております。脳卒中に限らず、血管疾患が疑われる場合は、センター医師直通電話(079-298-8531)にお電話いただければ幸いです。また、fax紹介をしていただければと、優先的にMRI検査枠が利用できますので迅速な対応が可能です。よろしくお願いいたします。

第一脳神経外科部長 高野 昌平



## 脳神経外科の手術について

当科では、新生児から高齢者まで幅広く対応して治療を行い、脳卒中や脳の外傷、脳腫瘍、小児の脳血管障害、奇形、水頭症、機能外科の治療に力を入れて取り組んでいます。

脳卒中では、365日いつでも脳梗塞に対する血栓溶解療法(t-PA静注療法)のみならず、カテーテルを用いた血栓回収療法を迅速に行なっております。また、脳内出血、クモ膜下出血に対しては従来からの開頭手術だけでなく内視鏡手術や血管内手術も行っています。

脳・脊髄の腫瘍の治療においては、手術治療だけでなく化学療法や放射線療法などを組み合わせた集学的治療を行うことにより西兵庫圏域ではトップクラスの症例数を経験しています。さらに、悪性脳腫瘍に対しては、手術、化学療法、放射線療法に加え、最新の治療である腫瘍治療電場(TTF)を行える施設です。

図1は63歳の男性で頭痛で発症し、頭部MRIで右側頭葉に周囲に浮腫を伴う腫瘍性病変を認めました。DSAでも腫瘍濃染を認め、膠芽腫と術前診断し、アミノレブリン酸による蛍光診断を併用して腫瘍摘出術を行いました。蛍光診断を併用することでより確実な摘出ができ、術後MRIでも腫瘍は全摘できています。術後放射線、化学療法を行っています。また、最新治療である腫瘍治療電場(TTF、オプチューン)も行なっています。治療困難な膠芽腫に対しても最新治療を組み込んだ集学的な治療を行なっています。

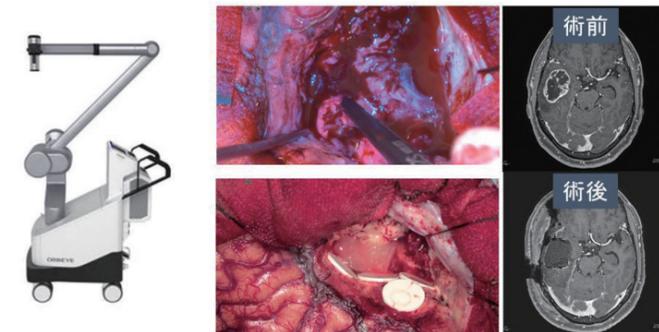


図1

図2は下垂体、松果体部悪性リンパ腫の25歳女性の症例です。神経内視鏡による腫瘍の生検術を行いました。深部腫瘍に対して低侵襲に診断ができ、スムーズに化学療法に移行できました。化学療法にて腫瘍は縮小し、症状は改善しています。

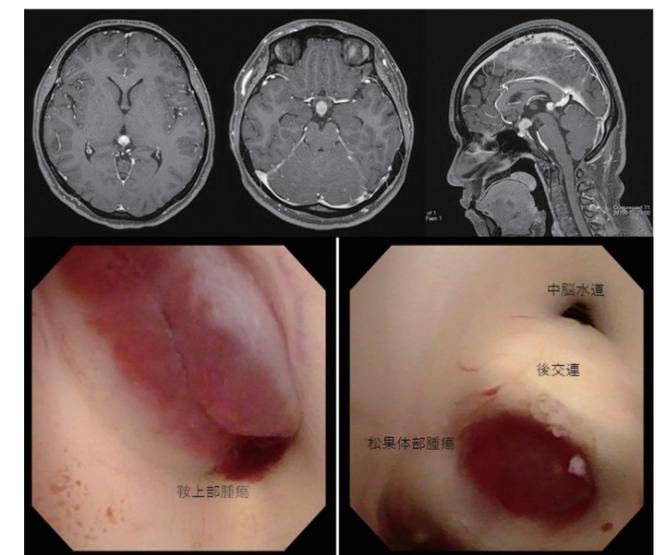


図2



02

## 眼科

## スタッフ紹介

平野 雅幸 眼科部長  
(平成19年卒/網膜硝子体・白内障)

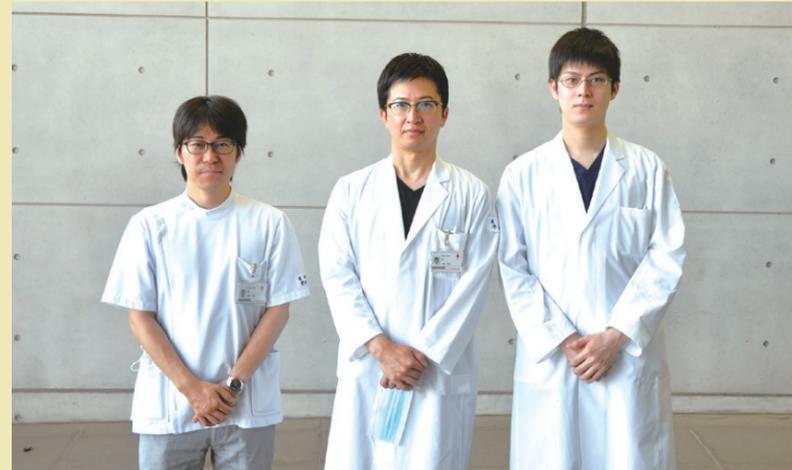
野田 拓志 医師  
(平成22年卒/眼科一般)

森田 哲郎 専攻医  
(平成28年卒/眼科一般)



## 令和元年度診療実績

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 白内障手術 | 1,300件<br>(多焦点眼内レンズ21件) |
| 硝子体手術 | 166件                    |
| 緑内障手術 | 71件                     |



## 当科の診療方針

視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚は人間の5感です。視覚から入る情報は、全体の80%以上を占めると言われています。眼の機能の低下は日常生活への影響が想像以上に大きく、それだけに、眼の機能の維持は非常に大切です。眼科では網膜硝子体疾患と白内障の治療を主体として、その他にも様々な眼疾患の治療を積極的に行っています。

## 診療内容

- 網膜硝子体手術に対する硝子体手術  
黄斑前膜や黄斑円孔などの網膜硝子体疾患には27ゲージまたは25ゲージ小切開システムによる手術を行っています。低侵襲かつ安全な手術によって患者様の視力の早期回復が可能となっています。増殖糖尿病網膜症などの難症例や網膜剥離などの緊急手術が必要な網膜硝子体疾患に対する治療も迅速に対応します。
- 白内障治療  
最新の白内障手術装置であるセンチリオンビジョンシステムを用いて手術治療を行っています。患者様の希望に合わせて入院治療、日帰り治療のどちらも可能です。多焦点眼内レンズを用いた白内障手術も行っています。
- 緑内障治療  
早期発見による点眼治療を基本としています。点眼治療の効果が不十分な場合、流出路再建手術や濾過手術などの緑内障手術も行っています。難治性緑内障に対するアーメド緑内障バルブを用いた手術も行っています。
- 抗VEGF薬を用いた治療  
加齢黄斑変性、黄斑浮腫などに対する抗VEGF薬の硝子体注射を行っています。患者様の治療・通院の負担を最小限にするためにTreat and Extend法という注射の投与方法を採用しています。

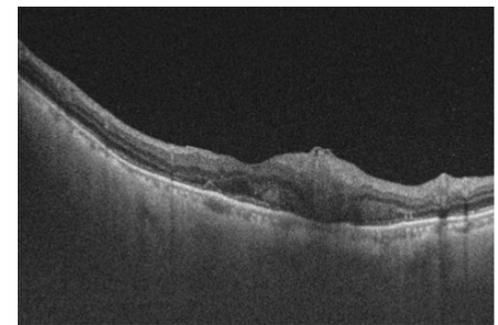
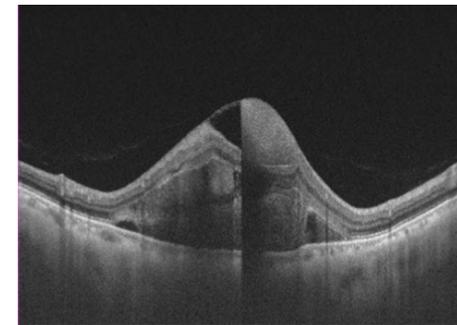
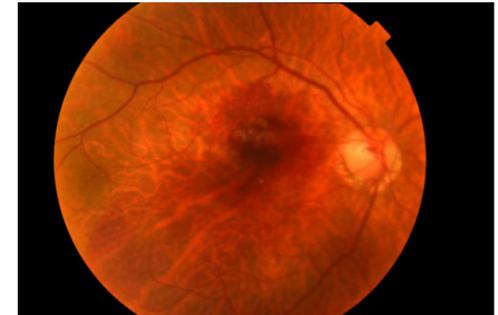
眼科部長 平野 雅幸



## 術前



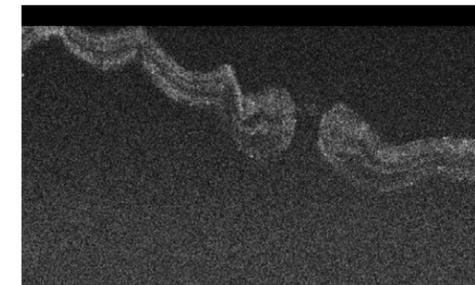
## 術後



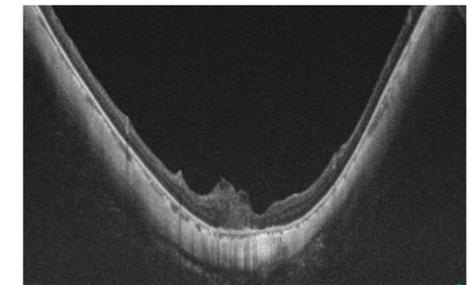
黄斑下血腫に対する硝子体手術 (82才男性)

高齢者の増加に伴い加齢黄斑変性や網膜細動脈瘤破裂による黄斑下血腫が増えています。黄斑下に多量の血腫がある場合、黄斑毒性によって高度の視力障害が残る可能性があるため、血腫の移動が必要です。近年、組織プラスミノゲン活性化因子 (t-PA) を併用した血腫溶解移動術の有効性が報告されています。当科では倫理委員会の承認のもとに、黄斑下血腫に対してt-PAを用いた黄斑下血腫の移動術を行っています。

## 術前



## 術後



難治性黄斑円孔に対する硝子体手術 (85才女性)

円孔径の大きい黄斑円孔や黄斑円孔網膜剥離などの難治性黄斑円孔は従来の術式では円孔の閉鎖が得られない場合があります。当院では難治性黄斑円孔に対して円孔の閉鎖率向上を目的として内境界膜翻転法を併用した硝子体手術を行っています。



03

## 糖尿病内科

### スタッフ紹介

柴田 祐助 糖尿病・内分泌内科副部長  
(平成20年卒/糖尿病)

松本 和也 専攻医  
(平成28年卒/リウマチ・膠原病)

高橋 直人 専攻医  
(平成30年卒/内科一般)

久保田 菜月 専攻医  
(平成30年卒/内科一般・膠原病)

岩谷 太史 臨床研修医  
(平成31年卒)



### 短期的かつ専門的な診療は当院で、中・長期的な管理はかかりつけ医で

初期の診療や慢性期の診療のご継続などはかかりつけ医の先生に診ていただき、専門的な検査や診察、入院が必要な治療は当院が担当する“地域医療連携”を提供できるようにしております。当院での治療の開始や調整、糖尿病に関する知識の提供、合併症のスクリーニングなどが完了しましたら、ご紹介元の医療機関にその後の長期的なフォローアップをお願いしております。

この方針を患者さんにもご理解いただき、当院の外来では長期フォローアップは行わないことで再診患者数は最小限にとどめており、逆にFAXを利用した新規のご紹介のご予約は上限なしで受けさせていただくように準備しております。

### 安全かつ確実な診療を提供できる体制を準備しております

当院で特に力を入れているのは外来診療のみでは対応できない患者さんの血糖管理です。安全かつ確実に血糖コントロールの改善・治療調整を行うための入院ができる体制を多職種で協力して整えています。その診療の体制が日本糖尿病学会にも認められ糖尿病専門医研修カリキュラムに基づく研修がすべて自施設で行うことが可能な施設である“認定教育施設I”も取得いたしました。かかりつけ医の先生に安心してご紹介いただけるため専門医研修中の若手医師も日々患者さんから勉強させていただいており、そのためにもたくさんの方の患者さんを紹介いただけますと幸いです。

糖尿病・内分泌内科副部長 柴田 祐助



### 地域の”糖尿病で困っている”を解決する糖尿病内科

糖尿病専門医への紹介基準に該当する患者さんがおられましたらお気軽に紹介ください

2018年に“かかりつけ医から糖尿病専門医・専門医療機関への紹介基準(日本糖尿病学会作成、日本医師会監修)”が策定されています。

当院では常勤の糖尿病専門医・研修指導医が診療にあたっており、この紹介基準を満たす患者さんの対応が全て可能です。紹介までのハードルを出来るだけ低くしております。下記の紹介基準を満たしている場合は、その旨を患者さんに説明いただき、お気軽にご紹介ください。ご紹介前にFAXでご連絡いただくことで当科専門外来の予約も可能です。

### かかりつけ医から糖尿病専門医・専門医療機関への紹介基準

～主に糖尿病治療ガイドより～

(作成：日本糖尿病学会、監修：日本医師会)

| 1.血糖コントロール改善・治療調整  |               |             |              |
|--|---------------|-------------|--------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●薬剤を使用しても十分な血糖コントロールが得られない場合、あるいは次第に血糖コントロール状態が悪化した場合(血糖コントロール目標※1)が達成できない状態が3カ月以上持続する場合は、生活習慣の更なる介入強化や悪性腫瘍などの検索を含めて、紹介が望ましい)</li> <li>●新たな治療の導入(血糖降下薬の選択など)に悩む場合</li> <li>●内因性インスリン分泌が高度に枯渇している場合(1型糖尿病等)</li> <li>●低血糖発作を頻回に繰り返す場合</li> <li>●妊婦へのインスリン療法を検討する場合</li> <li>●感染症が合併している場合</li> </ul> |               |             |              |
| ※1.血糖コントロール目標  |               |             |              |
| 目標   | 血統正常化を目指す際の目標 | 合併症予防のための目標 | 治療強化が困難な際の目標 |
| HbA1c(%)   | 6.0未満         | 7.0未満       | 8.0未満        |
| 高齢者については“高齢者糖尿病の血糖コントロール目標”を参照   |               |             |              |
| 2.教育入院   |               |             |              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●食事・運動療法、服薬、インスリン注射、血糖自己測定など、外来で十分に指導ができない場合(特に診断直後の患者や、教育入院経験のない患者ではその可能性を考慮する)</li> </ul>   |               |             |              |
| 3.慢性合併症  |               |             |              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●慢性合併症(網膜症、腎症※2)、神経障害、冠動脈疾患、脳血管疾患、末梢動脈疾患など)発症のハイリスク者(血糖・血圧・脂質・体重等の難治例)である場合</li> <li>●上記糖尿病合併症の発症、進展が認められる場合</li> </ul>   |               |             |              |
| ※2.腎機能低下やタンパク尿(アルブミン尿)がある場合は“かかりつけ医から腎臓専門医・専門医療機関への紹介基準”を参照のこと   |               |             |              |
| 4.急性合併症  |               |             |              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●糖尿病ケトアシドーシスの場合(直ちに初期治療を開始し、同時に専門医療機関への緊急の移送を図る)</li> <li>●ケトン体陰性でも高血糖(300mg/dl以上)で、高齢者などで脱水徴候が著しい場合(高血糖高浸透圧症候群の可能性のあるため速やかに紹介することが望ましい)</li> </ul>   |               |             |              |
| 5.手術   |               |             |              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●待機手術の場合(患者指導と、手術を実施する医療機関への日頃の診療状態や患者データの提供が求められる)</li> <li>●緊急手術の場合(手術を実施する医療機関からの情報提供の依頼について、迅速に連携をとることが求められる)</li> </ul>  |               |             |              |

上記基準ならびに地域の状況等を考慮し、かかりつけ医が紹介を判断し、かかりつけ医と専門医・専門医療機関で逆紹介や併診等の受診形態を検討する。

当院での対応の可否：全て**対応可能**です



# Cooperation Message

## 地域医療連携室

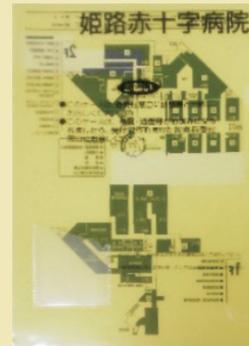
### FAX紹介の受付担当は私たちです

地域の先生方のご協力のおかげで、FAX紹介の件数は年々増加しています。感謝申し上げます。

その一方で「FAXを送信したが、予約票が届かない…」とのご連絡をいただくこともありました。原因の一つとして、当院のFAX機のキャパシティーの問題で、FAXを送信していただいたにもかかわらず、FAXの受信が出来ていないことがありました。そのため、受付担当者を増員し、同じFAX番号で2台のFAX機が対応できるように改善しました。地域の先生方のご

紹介にスムーズに対応するべく、速やかにFAX受信ができる体制をとっております。

また、FAX紹介患者用のファイルと再診患者用ファイルの色を変えており、診察予定時間に診察ができるように、FAX紹介いただいた患者さんをお待たせしないような工夫もしております。今後も、紹介しやすい地域連携をモットーに、いただきましたご意見から改善活動を行ってまいります。是非、FAX紹介をご利用いただけますようよろしくお願いいたします。



再診用ファイル



FAX紹介用ファイル

### がん地域連携パスを運用しています

当院は、地域医療支援病院と地域がん診療連携拠点病院としての機能があります。

地域の先生方よりご紹介をいただき、当院での治療が終了しましたら、紹介元の先生方と併診させていただきたいと思っております。

がん地域連携パスについて患者・家族に説明する際に、「2人主治医制」についてもリーフレットを用いて説明しております。是非ともよろしくお願いいたします。



問題解決への支援

ZOOM UP

### 遺伝外来について

近年、遺伝子が一部の病気の原因に関わっていることがわかってきました。例えば遺伝性乳がん卵巣がん症候群はその一つで、治療や予防に遺伝子情報を活用することが有効とわかり、本年4月からその遺伝子検査が保険適応となり利用しやすくなりました。

そのような医学・医療の進歩の一方、遺伝や遺伝性疾患に関わる悩みや不安、疑問などをお持ちの方がおられると思います。遺伝外来では、そのような方々に、まず正確な医学情報を分かりやすくお伝えし、理解していただけるようお手伝いいたします。その上で、ご自身のお考えをもとに、現在の医療技術や医学情報を利用し、最も適した問題解決ができるよう心理面や社会面、さらに身体面も含めた支援を行っていきたく思います。

現在は、院内紹介のみの対応となっておりますが、遺伝に関する悩みや不安を抱えている方や、問題に直面されている方、またはそのご家族などから相談を受けることができるよう準備を進めています。

臨床遺伝専門医である田村和朗医師と、看護師や助産師の資格を持つ3名の認定遺伝カウンセラーが遺伝外来を担当し、おもに遺伝性のがんに関する相談に対応しております。



戦場で救護にあたられた先輩方を追悼

### 救護看護婦像へ黙祷

「救護看護婦」とは、従軍看護婦の中でも特に日本赤十字社の養成学校を卒業された看護婦の名称です。当院の救護看護婦像は、姫路赤十字看護専門学校同窓会が、敷地内に、2001年8月に建立。建立以来、第2次世界大戦中に日本赤十字社から戦地へ派遣され、殉職した救護看護婦らを追悼し、毎年、終戦の日にあわせてこの像に献花と黙祷を捧げています。今年は、新型コロナウイルス感染対策のため、参加者の人数を制限し、佐藤院長が追悼の辞を述べた後、全員で1分間の黙祷を捧げました。

犠牲を顧みず、過酷な戦場でおびただしい負傷者の救護にあたられた先輩方の功績を誇りに思います。





## 姫路赤十字病院 臨床指標

臨床指標は、医療の質を具体的な数値として示したものです。

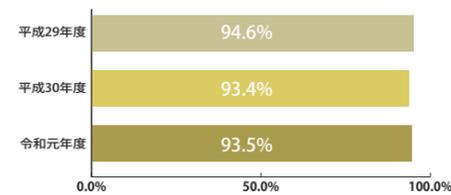
当院の臨床指標は主に、プロセス指標（実際に行われた診療や看護の内容）とアウトカム指標（実施した診療や看護の結果）からなり、これらの経年的変化を評価・分析することで、医療の質の向上に役立てています。

この度、令和元年度の臨床指標を取りまとめましたので、一部を公表させていただきます。

なお、ホームページ上では、その他の指標につきましても公表しておりますので、併せてご覧ください。

姫路赤十字病院 事務部 企画課

### ●病床稼働率



|    |          |
|----|----------|
| 分子 | 延入院患者数   |
| 分母 | 病床数×365日 |

#### 指標の説明

病床稼働率とは、実働病床数に対して、入院患者がどのくらいの割合で入院していたかを示す指標です。入院を必要とする患者さんのために病床を効率的に利用することが求められています。

### ●平均在院日数



|    |                      |
|----|----------------------|
| 分子 | 年間在院患者延数             |
| 分母 | (年間新入院患者数+年間退院患者数)/2 |

#### 指標の説明

患者さんが平均で何日間入院しているかを示す指標です。在院日数を短縮するには、適切な治療だけでなく、退院に向けて地域の病院・診療所・施設等との連携強化が必要になります。



CONSTRUCTION

## ただいま新棟を建設中です

来院者の方のアメニティ充実と診療機能の強化を目的に、正面玄関西側に新棟を令和2年5月より建設しています。今回の新棟工事は、病院敷地内北西側、癒しの庭スペースに3階建の新棟を増築し、1Fに放射線部門、2Fに来院者レストラン等、3Fに多目的ホール・患者サロン等を配置予定です。

工期は令和3年5月末頃、オープンは6月頃を予定しています。工事期間中は、敷地内通行等において色々ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

建築担当室



研修開催情報

## 令和2年度 姫路赤十字病院 看護部研修開催予定一覧

※日程は変更する可能性がありますので担当者までお問合せください。

### ▶レベルI研修

| 実施予定日時                             | 研修名                               | テーマ・主な内容                            | 講師                | 対象者  |
|------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------|------|
| 10/15 13:30~14:30                  | 看護技術研修「活動・休息」                     | 床上臥床による身体の影響                        | 看護係長              | レベルI |
| 10/28 13:30~14:30                  | フィジカル入門③「救急看護(BLSコース)」            | 急変時の看護救急蘇生術の基礎知識(講義と技術演習)           | 小児救急認定看護師         | レベルI |
| 11/16 13:30~14:30                  | 看護技術研修「医療安全②」                     | 医療安全について新人看護師が起こしやすい事故事例傾向について      | 看護係長              | レベルI |
| 12/9 8:30~12:00<br>~11 13:30~17:00 | 看護技術シミュレーション(半日コース)<br>日程はご相談ください | 多重課題、時間切迫状況場面における基礎的看護技術の展開<br>実技演習 | 教育担当師長・看護係長・実地指導者 | レベルI |
| 1/12 13:30~14:30                   | 看護倫理I                             | 赤十字の基本原則<br>看護師にとつての看護倫理について        | 看護係長              | レベルI |
| 1/26 13:30~14:30                   | グローバルヘルス                          | グローバルヘルスについて                        | 看護副部長             | レベルI |
| 3/2 13:30~14:30                    | 心に残った看護場面「事例をナラティブに書いて語ろう」        | ナラティブ事例の発表・共有                       | 看護係長              | レベルI |

### ▶レベルII研修

| 実施予定日時            | 研修名        | テーマ・主な内容                 | 講師     | 対象者   |
|-------------------|------------|--------------------------|--------|-------|
| 10/20 13:30~14:30 | キャリア開発II   | キャリア開発について               | 看護副部長  | レベルII |
| 11/27 13:30~14:30 | 看護と受容的態度   | 受容的態度でコミュニケーションスキルを理解する  | 看護係長   | レベルII |
| 2/5 13:30~14:30   | 後輩育成       | 後輩育成/リフレクション             | 教育担当師長 | レベルII |
| 2/22 13:30~14:30  | グローバルヘルスII | 国内外の保健・医療・看護・福祉の動向について知る | 看護副部長  | レベルII |

### ▶レベルIII研修

| 実施予定日時                             | 研修名                 | テーマ・主な内容   | 講師          | 対象者    |
|------------------------------------|---------------------|--|-------------|--------|
| 10/6 13:30~14:30                   | 看護倫理III             | 倫理的問題分析  | 緩和ケア認定看護師   | レベルIII |
| 12/9 8:30~12:00<br>~11 13:30~17:00 | 看護技術シミュレーション(半日コース) | 多重課題、時間切迫状況場面における基礎的看護技術(レベルI)の支援                          | 教育担当師長・看護係長 | レベルIII |
| 12/14 13:30~14:30                  | キャリア開発支援III         | キャリア開発について   | 看護副部長       | レベルIII |
| 1/29 13:30~15:00                   | 実地指導者研修①            | 新人看護職員の理解/実地指導者の役割の理解                                      | 看護師長        | レベルIII |
| 2/15 13:30~14:30                   | 実習指導                | 青年心理、教育方法/実習指導者の役割/カンファレンスの持ち方                             | 看護師長        | レベルIII |
| 3/8 13:30~15:00                    | グローバルヘルスIII         | 災害時、被災地域の文化やその地域の特性をふまえ、過酷な環境下での事故の危機管理・セルフマネジメントについて学習できる | 看護副部長       | レベルIII |

### ▶看護補助者研修

| 実施予定日時            | 研修名          | テーマ・主な内容                     | 講師    | 対象者   |
|-------------------|--------------|------------------------------|-------|-------|
| 10/23 13:30~14:30 | 医療安全         | 医療安全について(危険予知)・日常生活動作        | 看護係長  | 看護補助者 |
| 2/26 13:30~14:30  | 守秘義務・個人情報と倫理 | 個人情報保護に基づく守秘義務・倫理・ハラスメントについて | 看護副部長 | 看護補助者 |

### ▶専門・認定看護師研修

| 実施予定日時        | 研修名          | テーマ・主な内容                         | 講師       | 対象者   |
|---------------|--------------|----------------------------------|----------|-------|
| 12月(日未定)      | エンゼルケア       | 看取り前後のケア                         | 井上内嶋屋    | 緩和ケア  |
| 2020年11月(日未定) | 認知症ケア加算用研修   | 認知症ケア せん妄ケア                      | 三木       | 認知症看護 |
| 10/28         | 周術期看護        | 患者情報について<br>麻酔について<br>術中体位について   | 小川<br>穂村 | 手術看護  |
| 11/25         | 外回り看護(基礎編I)  | 概要<br>術前評価<br>全身麻酔について<br>各種モニター | 小川<br>穂村 | 手術看護  |
| 12/23         | 外回り看護(基礎編II) | 腰椎麻酔<br>局所麻酔<br>麻酔記録の見方          | 小川<br>穂村 | 手術看護  |
| 2021/3/10     | 手術室の感染管理について | 手術室の設備と環境面について<br>手術中の感染管理について   | 小川<br>穂村 | 手術看護  |

看護師研修、専門・認定看護師研修について 詳しくは [http://himeji.jrc.or.jp/kangobu/kyouiku\\_program.html](http://himeji.jrc.or.jp/kangobu/kyouiku_program.html) をご覧ください。

問い合わせ先 姫路赤十字病院 看護部 TEL 079-294-2251(内線3001)/FAX 079-296-4050